

マスタープランって何？

～石西礁湖自然再生の道しるべ～

これから皆さんと作成していく
「自然再生全体構想」
と
「自然再生事業実施計画案」
の参考書

未来の石西礁湖のイメージ

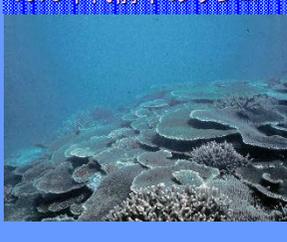
山と森と海と人々がつながり、岸近くにもサンゴが育まれている。すきとおった海のなかを、クジラブツダイが群れ泳ぎ、ギーラが湧き、サンゴのお花畑が咲き誇っている。イノーはモズクとアーサ探りのオバーで賑わい、サバニの上のオジーは今日も笑顔で帰ってきた。夏の日差しに、水しぶきをあげてはしゃぐ子どもたちの白い歯が眩しい。



マスタープランの目標

写真：福田照雄（9枚とも）

1970年代前半のサンゴ



石西礁湖自然再生の目標

長期：1972年の国立公園指定当時の
豊かなサンゴ礁生態系を取り戻す。
短期：環境負荷を軽減し、現状より悪化させない。

マスタープランには 何が書かれているの？

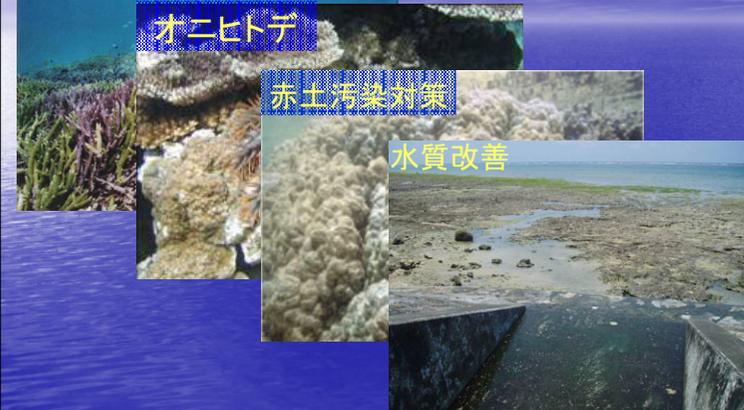
- ① 石西礁湖の現状と課題
- ② サンゴ礁生態系の恩恵と
マスタープランの目標
- ③ 石西礁湖の保全及び
持続可能な利用の基本方針
- ④ 具体的施策の展開
- ⑤ 今後の展開

保全・再生及び持続可能な利用の基本方針



1. 保全管理の強化

重要海域の保全



2. 持続可能な利用



3. サンゴ群集の修復

これまでの移植方法



4. 普及啓発

サンゴ礁の海とのふれあい

暮らしの中のサンゴ礁保全

環境教育・環境学習

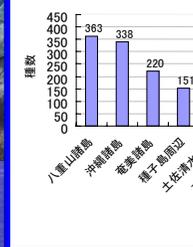
情報の発信とネットワーク作り



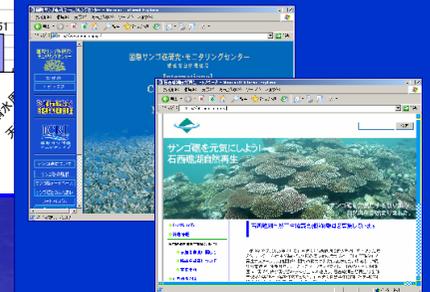
5. 調査研究

モニタリング調査

調査研究の推進



情報整備の推進



石西礁湖におけるサンゴ礁生態系の保全に向けた主な取り組み<環境省>

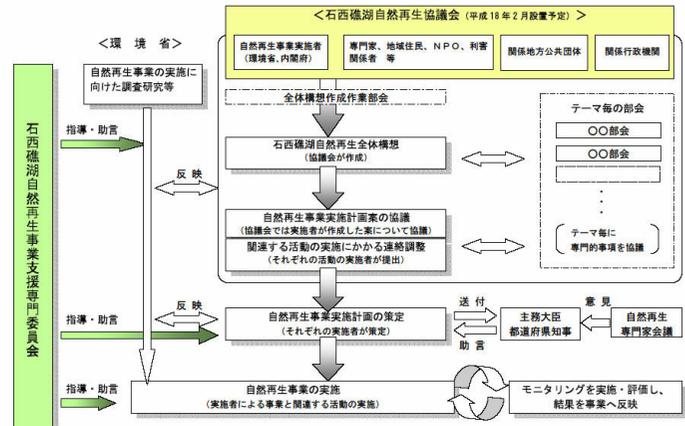
保安全管理の強化	<p>オニヒトデ</p> <p>西表国立公園の公園計画の変更 2003年</p> <p>オニヒトデの駆除 2003年～</p> <p>オニヒトデ対策連絡会議(3回) 2003年～</p> <p>オニヒトデ対策連絡会議(2回) 2004年</p> <p>オニヒトデ対策連絡会議(3回) 2005年</p>
持続可能な利用	<p>着床具の移植</p> <p>着床具を用いた修復の検討 2003年～</p> <p>持続可能な漁業・観光利用調査 2005年</p>
サンゴ群集の修復	<p>着床具の移植</p> <p>着床具を用いた修復の検討 2003年～</p>
普及啓発	<p>サンゴの海とのふれあい</p> <p>シンポジウム・ワークショップ等の開催 2003年～</p> <p>ふれあい行事 1994年～</p> <p>海の自然教室</p> <p>ティーチヤスガイド作成 2001年</p> <p>子どもパークレンジャー事業 2002年～</p> <p>学校でのサンゴ礁学習</p> <p>総合学習との連携</p>
調査研究	<p>国際サンゴ礁研究・モニタリングセンターの設置 2000年</p> <p>自然再生推進計画調査での各種調査の実施 2003年～</p> <p>広域モニタリング 1983年～</p> <p>石西礁湖と近隣海域</p> <p>1999年～</p> <p><調査地域の追加> 石垣島・西表島周辺</p> <p>モニタリングサイト1000 2003年～</p>

6つの基本的視点

- ① 予防的順応的態度
- ② 科学的認識
- ③ 総合的アプローチ
- ④ 情報公開・参加・合意形成
- ⑤ 連携・共同
- ⑥ 国際的認識

石西礁湖自然再生事業支援専門委員会

石西礁湖自然再生協議会の概要



石西礁湖自然再生事業のイメージ

< 環境省 >

1. 保全管理の強化

重要海域の保全

- ・海洋保護区に関する検討（国立公園 公園計画の見直し）
- ・持続的な海面利用のためのルール作りに向けた検討

オニヒトデ対策

- ・オニヒトデ簡易モニタリング調査の実施
- ・サンゴ礁の保全を目的とした重点的・戦略的な駆除の実施



2. 持続可能な利用

普及啓発

- ・持続可能な利用に向けた普及啓発活動の実施
- ・情報提供施設や掲示板の設置



3. サンゴ群集の修復

サンゴ群集修復事業の実施

- ・サンゴ群集の修復
- ・管理とモニタリング



4. 普及啓発

サンゴ礁の海とのふれあい

- ・人材の育成・確保
- ・活動プログラムの整備と機会の提供
- ・海とのふれあいにふさわしい場の保全
- ・情報提供
- ・サンゴ礁に関する普及啓発施設の整備

環境教育・環境学習

- ・子どもパークレンジャーなど学校における環境教育
- ・展示会、講演会、セミナーなどの開催

情報発信とネットワーク作り

- ・ワークショップの開催



5. 調査研究

モニタリング調査

- ・モニタリング調査の実施
- ・研究者レベル、市民レベルのモニタリング調査の推進とモニタリングネットワークの構築

調査研究の推進

情報整備の推進

- ・情報の収集・整理・提供
- ・データベースの作成



上記はイメージであり、今後、協議会での議論や事業の必要性・優先順位等を踏まえ、可能なものから順次実施していくことになる。